

勝林寺寺報



たべもの様には
仏がござる

ヘルパーさんの話

今年は暑い日が続きます。

元気な者でさえバテてしまつてどうにもならんのに、九十近いおばあちゃんが、「暑気中り」に罹つて食欲をなくしてしまつたといふのは無理からん話です。

嫁が、「おばあちゃん、なんにも食べんと益々弱つてしまひます。行平でおいしいお粥いナ」というて、戴いた今朝の朝食。まあおいしいの何のって、口のなかで、ふつくらと広がつて、それからじゅわっと溶けて、まあお米つて、こんなに美味しかつたかいなーと、わたしは本当にびっくりしました。思わずナムアミダブツナムアミダブツとお念仏がでて、…。

そこでハッと思つたんです。今まで何の気なしに、お礼もその度にはいわす、忙しいときには、面倒くさいとお茶漬けでサラサラながしこんだりして。またそのとき、ある偉いお方の歌をつい思ひだしたんですね。

たべもの様にはほとけがござる。

おがんで味おう 食べなされや
ほんにその通り。今朝のお粥の一粒一粒の

お米のなかには、一粒毎に小さな仏様がいてくださる。いや、けさのごはんだけではない。いつの日のごはんのお米のなかにも。食べてやろう生かしてやろうと、仏様が働いておつて下さったのです。

たべもの様には ほとけがござる。
拝んで味おうて 食べなされや。

わたしの里の親なんか、食事の前には必ず口漱いで、それからなにやらお経みたいなもんブツブツ唱え、丁寧に合掌してからしか箸はとりませんでした。

ものがあり過ぎると、ものを粗末にする。
一つ一つのものの値打ちもなにも見失つてしまふ。

九十歳ちかくなつて、今日はそのことをしみじみ知らされました。



【うたのこゑ】
中島家の 高く広く 隆盛な家名
継承すべく生まれ出たこの亞美
よくぞこの家の孫として生まれた
ことよ

生まれ出た初穂のようなこの子の
唇は 紅をさしたようにもえている

九十歳ちかくなつて、今日はそのことをし
みじみ知らされました。

- ①父の名「孝浩」
②祖父の名「武志」
③つぐみ（亞美）
④母の名「雪枝」
⑤村の名「坪口」



十月のことよみ



一日	横山伸三氏宅法事
二日	出石町福祉まつり
三日	D S (デーサービスボランティア)
四日	神戸徳照寺報恩講
五日	神戸徳照寺報恩講
六日	D S
七日	西宗寺報恩講
八日	西宗寺報恩講
九日	体育の日
十日	玉日会定例法座
十一日	検診・D S
十二日	ボランティアアドバイザー講座 敬老報恩講実行役員会(夕7時)
十三日	D S
十四日	宮嶋達也氏宅法事
十五日	福富修氏宅忌明法事
十六日	十六夜会定例法座
十七日	D S
十八日	ボランティア講座
十九日	託老所友遊クラブ
二十日	D S

別修敬老報恩講

長專寺報恩講

大阪津村別院日曜講演

D S アドバイザー講座

みのりを聞く会定例法座

みのりを聞く会定例法座

託老所友遊クラブ

立脇晃氏宅法事

善立寺報恩講

兵庫青年僧侶の会布教大会(当寺)

D S

葬儀

九月六日 出合市場

九月六日 妻福富はる子さま

六十七歳

九月六日	出合市場
九月六日	妻福富はる子さま
九月六日	六十七歳
九月六日	出合市場
九月六日	妻福富はる子さま

